

しん SHIEN No.31

2020 5/10



<http://kisokobe.sub.jp/>



『クリスチャン新聞』(2020年5月3日付)

国内では、加西市の藤丸秀淨住職たちがふとんを提供してくださっています。病院が院内感染のため、受け入れてももらえないで、一時的な病院場所のため備えていています。仮設待機場所など必要な方はご連絡ください。

ガーナ、タンザニア、ネパールの三ヵ国に800個を発送。続いてベトナム、4月6日～9日に、サイクロンが5年ぶりに襲ったバヌアツ(2名死亡)、インドネシア、アイボリーコーストに発送。

引き続き、みなさまからの応援をお待ちしています。

岩村義雄先生 敬称略
矢野寛子、田村治典、木村ミツル、山田高良
夫婦、牛田匡、村上安世、岡部和香、安正祐、
土手ゆき子、本田寿久、白方誠彌、山下寛&
弘美、畑琴枝、渡辺智恵、岩村義雄、遠藤美
智子、他 5月9日現在。

淀川キリスト教病院名誉院長

白方誠彌

ヤマザキ
世界のパン
ヤマザキ

Otsuka
株式会社大塚製薬工場
〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151(代表)

神戸国際支縁機構(KISO)季刊誌

【発行人】 岩村 義雄 (携帯 070-5045-7127)
【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区狩口台5-1-101
Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939
E-mail:kiso@mbe.nifty.com

【石巻支所】 阿部 とよ子
〒986-2121 宮城県石巻市渡波町3-5-37
Tel(0225)24-3107
E-mail:cp.abe@royal.ocn.ne.jp

【熊本支部】 大島 健二郎
〒862-0939 熊本市東区長嶺南4-4-27
ウイングアイ303

年4回 2月、5月、8月、11月
購読料 一部320円+送料80円(年ぎめ 1,600円)



第104次東北ボランティアに参加の田村治典氏たちは400個の手作りマスクを岩村義雄理事長に提供。
2020年4月30日。尼崎市。

マスクを海外の貧しい孤児、戦争や被災により夫をなくした独身女性、高齢の独居者に
海外の神戸国際支縁機構の9つの支部から医療品などなかなか地方の集落には届かないでの、自分たちがボランティアをして地域の貧者に届けたいとの願いが寄せられています。

全国から海外の貧者のためのマスクを提供
敬称略
矢野寛子、田村治典、木村ミツル、山田高良
夫婦、牛田匡、村上安世、岡部和香、安正祐、
土手ゆき子、本田寿久、白方誠彌、山下寛&
弘美、畑琴枝、渡辺智恵、岩村義雄、遠藤美
智子、他 5月9日現在。



『中外日報』(2020年5月8日付)

岩村義雄先生

お

変

わ

り

な

く

ま

す

。

と

存

じ

ます

。

コロナ騒動で世界中

大

変

にな

っ

い

ます

。

コ

ロ

ナ

騒

動

で

世

界

中

で

あ

る

。

日

本

も

、

韓

国

も

、

P

C

R

検

査

を

徹

底

的

に

行

え

ば

、

軽

症

感

染

者

の

把握

が

出

来

ま

せ

ん

の

非

常

事

態

を

実

施

す

。

難

し

い

の

で

、

防

御

を

続

し

て

、

軽

症

感

染

者

の

機

会

が

無

く

な

り

な

い

る

。

か

う

で

し

ょ

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う



東日本大震災で最大の被災地宮城県石巻市渡波に「田・山・湾の復活」ボランティアに向かいました。石巻森林地区組合からの依頼で牡鹿半島の山に案内されました。チエーンソーなど森林作業に慣れている高橋一正さんをリーダーとして子どもたちの遊び場つくりに応援させていただきました。

翌朝、湾のノリ養殖は風が強く、午前5時からの船での作業は中止。出荷の等級検査前の箱づめ、ライン運搬にいそしみました。堀浩一さんと、北村恭男さんが班長としてまとめてくださいました。「ひきこもり」だった私が参加されていますけれど、取るに足らない

カッパを着て、あいにくの雨にもかかわらず、同行記者を含めて13名により予定以上に早く割り当てを終えました。

第106次東北ボランティア報告

2020年3月9日-12日 代表 村上 裕隆



東北支援 これからも

引きこもり克服、団体率いる

草木の村上さん 訪問100回超 寄り添う



『神戸新聞』(2020年3月11日)

第8次松末ボランティア

無情な国 2020年2月16日-19日

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。
本会員は、一口2,400円/1年
賛助会員は、一口5,000円/1年
・郵便振替 口座 00900-8-58077
加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構
・三菱UFJ銀行 462(三宮支店) 普通 3169863
神戸国際支縁機構 岩村義雄
海外の災害緊急募金には必ず『国名』を書き添えてください。



松末地域コミュニティ協議会 左から、梶原ミスミさん、岩村理事長、伊藤睦人会長、樋口實氏、日隈繁夫氏。2020年2月17日。

31年ぶり、
ゼロから翻訳した新しい聖書
『聖書 聖書協会共同訳』
-2018年12月発行-

全国書店にて
好評発売中です
www.bible.or.jp
日本聖書協会

GAUFRES®
ゴーフル

いいものは時代をこえて生き続けます。
ゴーフルは神戸鳳月堂の登録商標です。425098号

神戸鳳月堂
URL http://www.kobe-fugetsudo.co.jp

人によし、社会によし、未来によし。
 ミヨシ油脂株式会社

〒124-8510 東京都葛飾区堀切4-66-1
http://www.miyoshi-yushi.co.jp

夢に近づく
夢を産み出す…
KINSAN

KINSAN 近畿産業信用組合
総合センター 0120-111-019



第105次東北ボランティア 餅つき大会

2020年1月19日-22日 理事 藤丸秀浄

第7回目の餅つき大会のため、神戸から60キロのもち米を持参しました。地元の方々、長浜幼稚園の教師たち、職員たちは前日からもち米を水に浸した容器から取り出していました。機構は千葉災害ボランティアからの到着が夜中になり、深夜に17合ずつの容器など11個に浸しておきました。

一年間、野外でトロトロ層づくり、田植え、稻刈り、天日干し、脱穀、収穫祭と共にした園児たちが手話で歌つて



『牡鹿新聞』(2020年1月25日付)

『石巻日日新聞』(2020年1月23日付)

『石巻かほく』(2020年1月30日付)

くだり、胸がジーンとなりました。真冬の冷気の外で白と杵でペったんこと園児たちは喜んで餅つきをします。昔ながらの風物詩であり、アメリカのコロラド州やカリフォルニア州の訪問者も感激しておられました。お雑煮と草色をしたきなこもちを来会の元の人たち、卒業生の親御さんたちと味わいました。

年少組の親御さんたちから田植えなどを樂しみにしていると言われました。

お餅をもって、独居の被災者めぐりをした

り、引きこもりの青年を訪問しました。



日本への航海中、ナジエージダ号の中では二つの対立が渦巻いていました。

一つは、レザーノフとクルーゼン・シュテルンの指揮権をめぐつての対立です。二つの目的のための隊長は、侍従であり政治家でもあるレザーノフですが、クルーゼン・シュテルンの立場からすると、航海の責任者は艦長たる自分であります。だとすれば、世界周航成功的の曉には、その名譽は、自分に来るべきものだという認識があります。下世話にいう功名争いというもののかも知れません。

二つ目は、日本人同士での対立です。「ピヨートル・

ステファンノヴィツチ・キセーリヨフ」というロシア人になった善六を、ロシアは日露交渉の通訳にしようとしていました。それに対して、帰国する津太郎等四人の日本人からすると、善六は自分から日本人であることを捨てただけではなく、他の人たちまで誘い込んだ憎い男ということになります。しかもその上、善六は自分達と話すよりもレザーノフと互に相手の言葉を学び合っています。善六と四人の日本人は、お互いに口も利かなくなっていました。

この様な対立をはらんで三ヶ月近くも航海している内に、レザーノフは長崎で善六が日本人であることがばれる可能性を恐れて、ペトロパロフスクで彼を下船させてしまします。また同伴のネヴァ号は、ジェージダ号と別れ、北アメリカに向かいます。

ロシアは、日本への通商を求める全権大使として、皇帝侍従のニコライ・レザーノフを任命しました。彼は、イルクーツクの商人で漂流民送還を通商のきっかけにする提案をした人です。出発に際し、レザーノフが乗る戦艦は「ナジエージダ号」(ロシア語で「希望」の意味)ですが、その艦長をしているのが、海軍大尉クルーゼン・シュテルンです。この航海には、日本と通商条約を結ぶことの外に、もう一つの目的がありました。それは、「ナジエージダ号」と「ネヴァ号」の二隻の戦艦を率いて、「ロシア初の世界周航」を実現することでした。その隊長にもニコライ・レザーノフが任命されました。ナジエージダ号には八十五名、ネヴァ号にはリシャリンスキー艦長以下四十八名が乗り込みました。

1999年退職。石巻市教育委員会教育長(1999~2008)。近刊阿部和夫著『戊辰戦争と仙台藩――その時、石巻では』(三陸河北新報社)好評。

船内の対立 二つ!

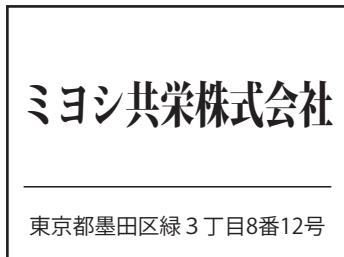
ロシアは、日本への通商を求める全権大使として、皇帝侍従のニコライ・レザーノフを任命しました。彼は、イルクーツクの商人で漂流民送還を通商のきっかけにする提案をした人です。出発に際し、レザーノフが乗る戦艦は「ナジエージダ号」(ロシア語で「希望」の意味)ですが、その艦長をしているのが、海軍大尉クルーゼン・シュテルンです。この航海には、日本と通商条約を結ぶことの外に、もう一つの目的がありました。それは、「ナジエージダ号」と「ネヴァ号」の二隻の戦艦を率いて、「ロシア初の世界周航」を実現することでした。その隊長にもニコライ・レザーノフが任命されました。ナジエージダ号には八十五名、ネヴァ号にはリシャリンスキー艦長以下四十八名が乗り込みました。

1999年退職。石巒市教育委員会教育長(1999~2008)。近刊阿部和夫著『戊辰戦争と仙台藩――その時、石巒では』(三陸河北新報社)好評。

初めて地球を一回りした日本人

「石巒若宮丸物語」⑩

阿部 和夫





事務局便り



東京都 軽症の患者などをホテルに移送へ 新型コロナウイルス
『NHK』 (2020年4月7日午後6時半)

国は自然災害（地震、水害、病気）の被災者に、全国のホテルなどに無料で宿泊できるように支縁すべきです。

事務局長 本田 寿久



タンザニアに孤児の家を建造します。7月31日までに、建設資金100万円を要します。ご協力をお願いします。

ガーナ、タンザニア、インドネシアなどの里親になっていただけないでしょうか。

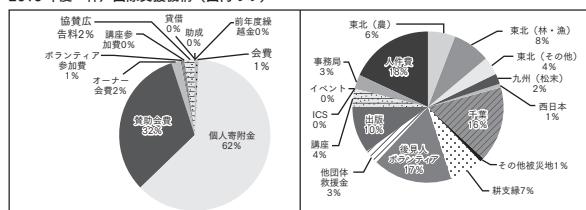
※ 孤児たちが大人になるまで、毎月3千円を全額現地の責任者が受け取ります。お近くの郵便局で自動引き落としができますので、事務局にお尋ねください。



第1次東北ボランティア
参加の柴笠雄輝＆あやみ
夫婦と結愛さん
(2019年2月2日生)

セミナー告知 5月は中止です。
6月から再開します。
●本田哲郎セミナー 毎月第3金曜午前10時～
●岩村義雄セミナー 每月最終月曜午後6時半～
●神戸国際支縁機構の総会は5月24日の予定でしたが、延期未定です。

2019年度 神戸国際支援機構（国内のみ）



救援金、維持会費ご協力を感謝します。（敬称略）

2020年1月18日～4月18日

神戸国際キリスト教会、岩村義雄、井本敦幸、廣瀬素子、金承鎬、小寺三郎、小笠原貞夫、朝日泰治＆華子(2)、西上千栄子、KISO牧場、稻原良三、川井浩三、忠内一由、忠内有紀、春名純人、日本基督教団久宝教会、(株)竹中工務店、土手ゆき子＆暁＆朋＆直、日本基督教団神戸栄光教会、白方誠彌、仲誠一、石川博一、伊藤睦人(朝倉市松木)、高橋一正(3)、平林久子、太田妙子、木村ふみ子(宮城県石巻)、間宮志のぶ、大田登貴子、的野慶子、伊藤直樹＆ヨシ子(茨城県日光市)、兵頭晴喜、池永タケコ、木村製治(宮城県石巻)、「小さくされた人々のための福音」講座、樋口實(朝倉市松木)、栗原健、福寿恵美、ミヨシ共栄株式会社、ブレイティ・オアン(神戸ペトナム人会会長)、竹内喜子、さかいようこ、神戸聖福教会、李敬淑(2)、合同会社Bless 泉真姫(2)、山本次子、マラヴィ大使館、森一郎、坂牧弓絃、東原良学(2)、柴田正生、千葉幸一(宮城県石巻)、森田美芽、ミヨシ油脂株式会社、中山圭子、沖浦宏隆(千葉県布良)、原浩司、河内常男、櫻井由里子、湯川紘未、永野真治、白瀬小一郎、藤丸秀淨(法専寺住職)、庄司慈明(宮城県石巻)、阿部艶子、日本バプテスト同盟西岡本キリスト教会、久留島琴、朝日泰治＆華子、仙浩二、辻良雄、坪井久子、酒井彰、酒井久美子、匿名
975,200円

海外支縁（カヨ子基金）

神戸国際キリスト教会、岩村義雄、小笠原貞夫、西上千栄子、川井浩三、高橋一正、的野慶子、兵頭晴喜、さかいようこ、東原良学(2)、千葉幸一(宮城県石巻)、櫻井由里子、庄司慈明(宮城県石巻)、阿部艶子、日本バプテスト同盟西岡本キリスト教会、久留島琴、朝日泰治＆華子、仙浩二、辻良雄、坪井久子
143,300円

ガーナ救援金

神戸国際キリスト教会、岩村義雄、石川博一、太田妙子、柴田正生、高橋一正(3)
21,000円

タンザニア救援金

神戸国際キリスト教会、岩村義雄、小笠原貞夫、西上千栄子、川井浩三、高橋一正、的野慶子、兵頭晴喜、さかいようこ、東原良学(2)、千葉幸一(宮城県石巻)、櫻井由里子、庄司慈明(宮城県石巻)、阿部艶子、日本バプテスト同盟西岡本キリスト教会、久留島琴、朝日泰治＆華子、仙浩二、辻良雄、坪井久子
680,500円

フードバンク関西、「耕支縁」の山本勝さん、森岡忠義さんから、キャベツ、ブロッコリーなどの野菜を提供していただきました。久留島琴さんからたくさんのかい口を感謝します。松末の梶原ミスミさんからたくさんのしいたけ、西堀元さん、龜山紀子さんからクッキーもいただきました。石巻地区森林組合からタオル、コーヒー、大島ます子さんから手芸品、本田巧さん、丹野典彦さんからたくさんの海苔をいただきました。漁ボランティア班がお世話になっています。

小谷登志江さんから館山のそら豆を一箱送っていました。

訃報 宮城県石巻市の目黒敬さん(69才)は心臓のため2月11日に逝去。宮城県石巻市渡波の丹野栄子さまが3月28日夜逝去なさいました。謹んで二人の哀悼の意を表します。

編集後記

東北ボランティアに参加し、傾聴ボランティアに佐々木美和さんと戸別訪問しました。印刷業を地元で営む平塚宏行(45歳)&淳子ご夫婦は、「2011年3月、一生分の遺体を目にした。忘れない」とおっしゃっていました。地震直後、それぞれの親戚を探すために奥様とは別れてしまい、子どもや家族みなが無事再会できたのは3日後でした。親族の中にはお亡くなりになった方もいらっしゃいました。それから7年間仮設住宅に住み、2年前に現在の場所へ印刷所兼家を建てられました。新たな機材の購入で借金が生まれても、地域の復興に、ご尽力されています。

現場に入ってみて、人々の善意の寄付金・義援金が助けを必要としている地域の人々に届いていない現実を、その事実を聞いていたし知ってはいましたが、実際に目の当たりにすることで、被災者の方達の深く辛い憤りと悲しみに接しました。引き続き、機構を通しての「支縁」が大きな力となり、地域の方々との信頼関係を紡いでいくように仕えたいと思います。

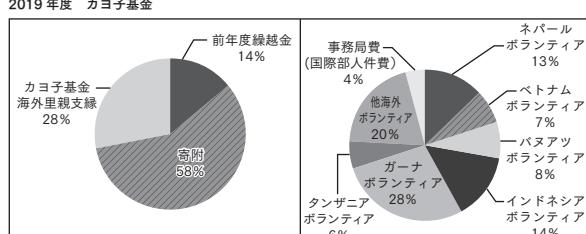
事務局 徳留由美

前号訂正：編集後記の「吳の中原」は「吳の市原」でした。



渡波印刷(株) 津波被害

2019年度 カヨ子基金



内容	金額	内容	金額
前年度継越金	682,434	ネパールボランティア	640,000
寄附	2,809,003	ベトナムボランティア	360,000
カヨ子基金海外里親支縁	1,370,000	バヌアツボランティア	360,000
		インドネシアボランティア	648,660
		ガーナボランティア	1,353,413
		タンザニアボランティア	280,000
		他の海外ボランティア	956,602
		事務局費(國際部人件費)	190,645
計	4,861,437	計	4,789,320
継越金		継越金	72,115